

2025

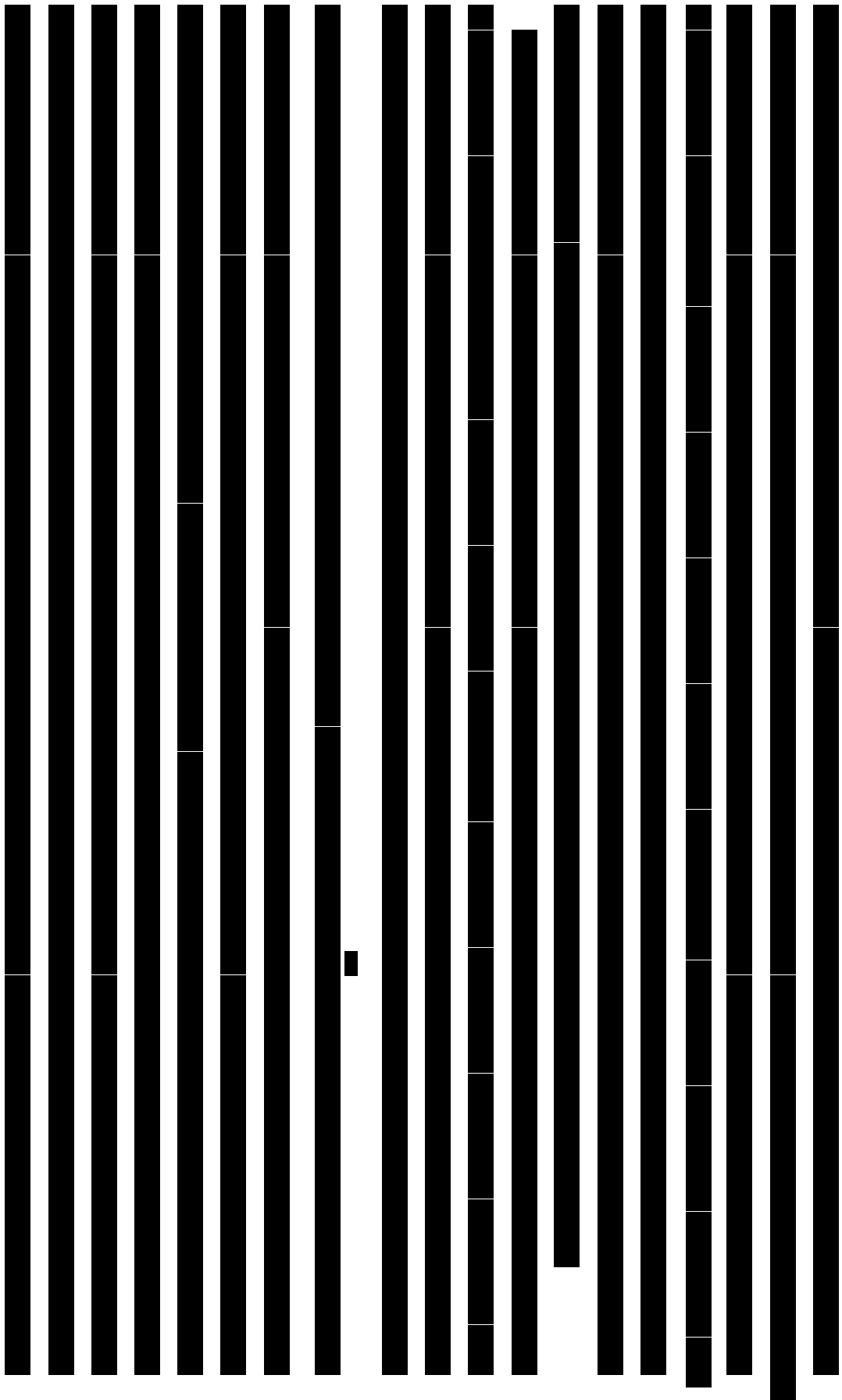
小論文[学校推薦型選抜B（公募制）]

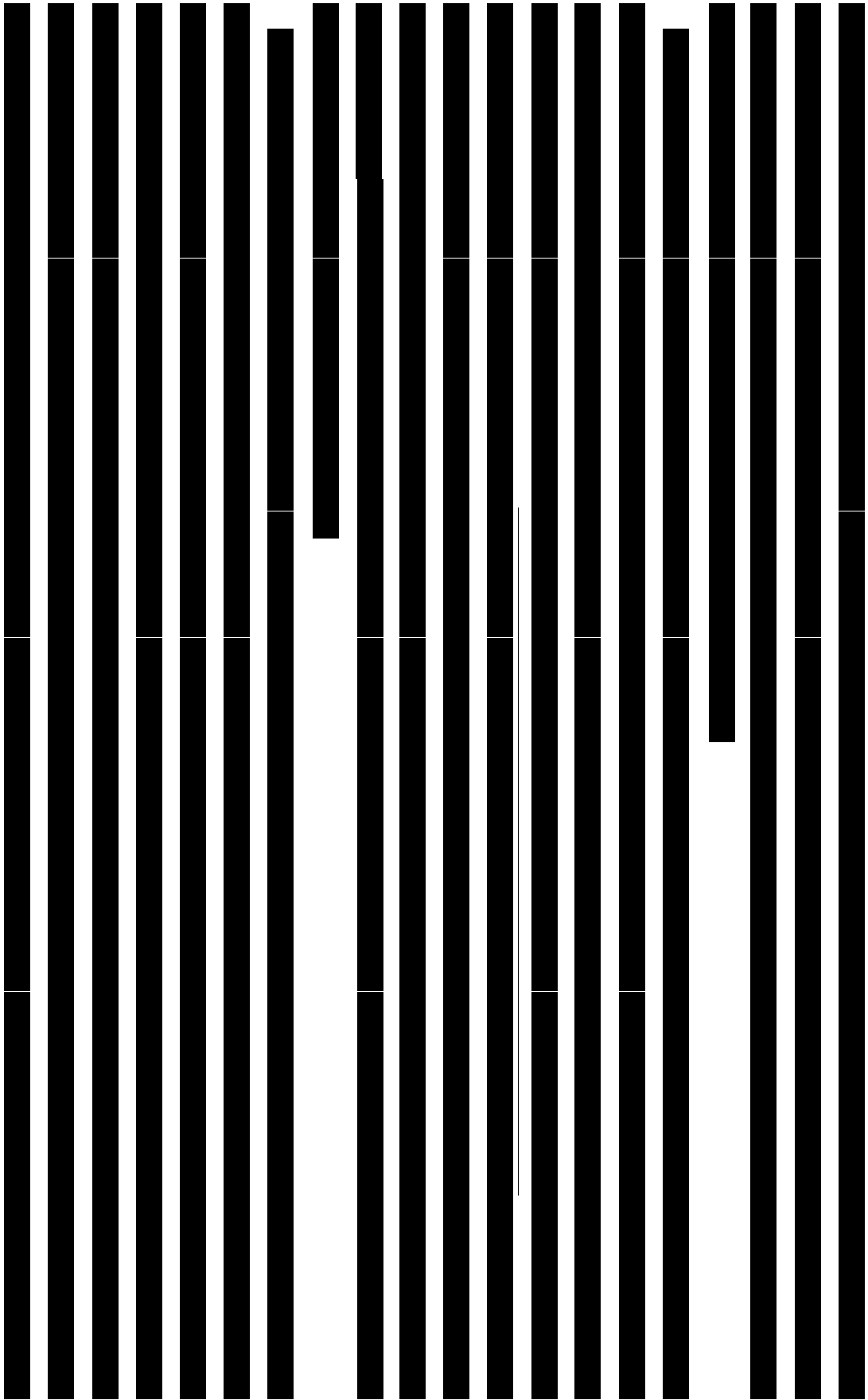
注 意

1. 試験開始の合図があるまでに、この注意をよく読んで間違いのないようにしてください。
2. 試験開始の合図があるまで、問題を開かないでください。
3. この問題の本文は4ページです。落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合は申し出てください。
4. 解答は必ず解答用紙の所定の場所に記入してください。解答用紙は1枚です。なお、下書き用の原稿用紙を1枚配布します。
5. 文字ははっきり書いてください。解答の文字が読みにくい場合は点を与えないことがあります。
6. 解答用紙には受験番号を必ず記入してください。
7. 解答用紙の評点欄には何も記入しないでください。

次の文章を読み、課題一・課題二に答えなさい。

[Redacted text block]





(カール・ヘラップ (梶山あゆみ訳) 『アルツハイマー病研究、失敗の構造』 みすず書房、二〇二三年)

課題一 本文の内容を二〇〇字〜二五〇字で要約しなさい。

課題二 傍線部「[redacted]」とあるが、その理由を、本文を参考にし
てあなた自身の言葉で説明した上で、
ついで、具体的な例をあげて四〇〇字〜五五〇字で述べなさい。

受験番号

総 点

総 点

150

300

小論文 出題の意図

入 試 年 度： 2025（令和7）年度

入 試 名 称： 学校推薦型選抜B（公募制）小論文

入試実施日： 2024（令和6）年 11月 16日

※この「出題の意図」についての質問、照会には一切回答しません。

本文から、老化という現象が止められるものではなく、拮抗する遺伝子の発現の結果として説明できることを読み解き、老化に関連した疾病が避けられない現代社会の状況を考慮した上で、自分の考えを説得的に述べることを求めた。限られた時間内で、本文の要点を的確に把握する能力、本文で述べられている内容を踏まえ、自身の知識を基に現代的な課題を論じる思考力、文章を論理的に構成して表現する能力を問う問題である。